国立研究開発法人日本医療研究開発機構
(Japan Agency for Medical Research and Development: AMED)

「橋渡し研究プログラム（シーズC(b)）」の概要について

１．国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）について

医療の分野における基礎から実用化までの研究開発が切れ目なく行われ、その成果が円滑に実用化されるよう、大学や研究機関などが行う研究を支援し、研究開発やそのための環境の整備に取り組むことを目的として、平成 27 年 4 月に設立された日本最大の政府系医学系研究助成機関です。

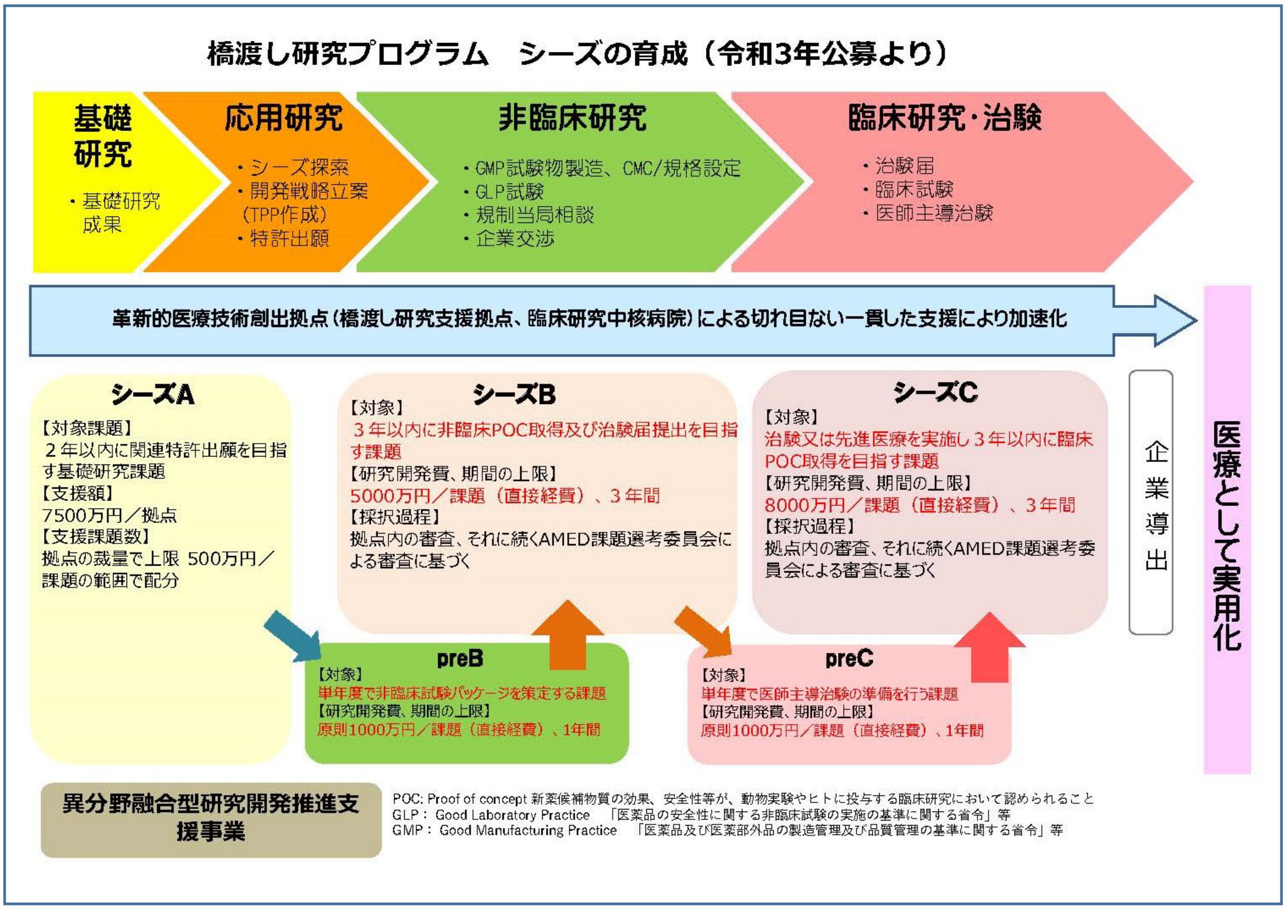
２．橋渡し研究プログラムについて

AMED が行なっている支援には様々なものがありますが、その中でもっとも重要なものの一つにいわゆる“橋渡し研究”があります。

当該プログラムは、健康・医療戦略（令和 2 年 3 月閣議決定）等に基づき、文部科学大臣が認定した「橋渡し研究支援機関」を活用し、アカデミア等の優れた基礎研究の成果を臨床研究・実用化へ効率的に橋渡しするために、研究費等の支援を行い、革新的な医薬品・医療機器等の創出を目指すものです。

基礎研究からより実用的な臨床研究へと、文字通り「橋渡し」するための研究であり、研究開発のステップごとに、シーズ A、シーズ B、シーズ C のように分けられています。

◆橋渡し研究プログラムの概要（AMED ホームページより）



3. シーズ C について

シーズ C は、橋渡し研究の最終段階にあって、実際の患者さんに新しい医薬品や医療機器を使用した際の安全性や有効性について検討する臨床試験に進むための型の研究と位置付けられおり、国が支援する研究開発課題としては、もっとも重要視されるものです。

シーズ C まで進めるためには、多くの研究組織と連携し、様々な課題をひとつずつ解決していく必要があり、シーズ C の採択は極めて狭き門となっています。

「臨床試験に向けた準備・臨床試験を行う課題」であるシーズ C (a)と、「臨床試験を行う課題」であるシーズ C (b)があり、C (b)の採択数5件のうち、大分大学の課題が 2 件採択されました。

区　分	申請数	書類審査通過数	採択数
シーズ C (a) 臨床試験に向けた準備・臨床試験を行う課題	10	5	2
シーズ C (b) 臨床試験を行う課題	18	14	5